

令和5年第2回北海道議会定例会 一般質問 開催状況 (環境生活部)

開催年月日 令和5年7月5日(水)
 質問者 日本共産党 丸山 はるみ 議員
 答弁者 環境生活部長 加納 孝之

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 知事の政治姿勢について</p> <p>(一) 道政執行方針と補正予算編成について</p> <p>2 半導体関連産業振興等について</p> <p>(2) 環境保全体制の構築について</p> <p>ラピダスが建設する工場の水の量も確保策も、工場排水に含まれる物質の詳細も明らかになっていません。</p> <p>半導体製造で関わりのあるPFAS等は、現行規制でカバーできない現状であり、新たな規制基準を設けるべきと考えます。道としてどのように監視し、環境保全に取り組むのか伺います。</p>	<p>(環境生活部長)</p> <p>環境保全についてでございますが、本年5月22日に開催されましたプロジェクトの説明会におきましては、有機ふっ素化合物の総称でありますPFASに関し、人の健康へ影響を及ぼす可能性が指摘されておりますPFOSとPF0Aの2つの物質につきましては、既に半導体の製造材料からは全廃されており、工場に持ち込むことはない、などの説明があったところであります。</p> <p>国の資料では、PFASについて国際的に統一された定義はありませんが、OECDの報告におきまして、約4,700物質が特定され、各国・各機関においてこれらの物質に関する管理の在り方が議論されてきておられておきまして、現在、我が国におきましても専門家会議を設置し、国内外の最新の科学的知見などの収集・評価を行い、総合的な対応の検討などが行われているところであります。</p> <p>道といたしましては、その動きを注視いたしますとともに、各種環境関係法令に基づく指導等を通じ、環境保全対策が適切に実施されるよう対応してまいります。</p>